

平成27年8月25日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

8月25日の弊社投資信託の基準価額の下落について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許の市場動向と弊社投資信託への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 弊社投資信託への影響

ファンド名	平成27年 8月24日 基準価額(円)	平成27年 8月25日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
世界優良株ファンド(3ヵ月決算型) [愛称:プライム コレクション]	9,967	9,394	▲573	▲5.75
世界優良株ファンド(毎月決算型) [愛称:プライム コレクション(毎月決算型)]	10,299	9,706	▲593	▲5.76
欧州新成長国株式ファンド	5,369	4,965	▲404	▲7.52
コスモ・中国株厳選ファンド [愛称:百花繚乱]	9,060	8,317	▲743	▲8.20
中国株厳選ファンド3ヵ月決算型 [愛称:百花繚乱3ヵ月決算型]	7,639	7,013	▲626	▲8.19
アジア・ダブルプレミア・ファンド [愛称:龍虎]	8,458	7,929	▲529	▲6.25
T&Dインド中小型株ファンド [愛称:ガンジス]	9,764	8,892	▲872	▲8.93
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型) 通貨プレミアム・コース	7,162	6,668	▲494	▲6.90
豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)	5,984	5,360	▲624	▲10.43
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) ツインα・コース	6,905	6,289	▲616	▲8.92
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) シングルα・米ドルコース	7,038	6,454	▲584	▲8.30

ファンド名	平成 27 年 8 月 24 日 基準価額(円)	平成 27 年 8 月 25 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
資源ツインαファンド(通貨選択型) ブラジルリアルコース	6,240	5,367	▲873	▲13.99
資源ツインαファンド(通貨選択型) トルコリラコース	6,764	5,902	▲862	▲12.74
資源ツインαファンド(通貨選択型) 米ドルコース	7,147	6,359	▲788	▲11.03

(小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	平成 27 年 8 月 24 日	平成 27 年 8 月 25 日	騰落率(%)
MSCI KOKUSAI インデックス(米ドルベース) (T&D円換算)	895,465.19	841,451.50	▲6.03
	平成 27 年 8 月 21 日	平成 27 年 8 月 24 日	騰落率(%)
ロシア RTS 指数 \$	762.38	724.73	▲4.94
ハンセン中国企業株指数(H株指数)	10,195.05	9,602.29	▲5.81
CNX Midcap Index	13,749.15	12,543.15	▲8.77
iシェアーズ 米国不動産 ETF(米ドルベース)	74.09	70.63	▲4.67
S&P/ASX 200 指数	46,646.44	44,738.22	▲4.09
iシェアーズ MSCI ブラジル・キャップト ETF (米ドルベース)	25.10	24.01	▲4.34
原油先物価格	40.45	38.24	▲5.46
金先物価格	1,159.60	1,153.40	▲0.53

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、8月21日と8月24日と比較しています。

原油先物はWTI原油先物、金先物はCOMEX金先物の価格を使用しています。

原油先物価格の単位は米ドル/バレル、金先物価格の単位は米ドル/トロイオンスです。

(小数点第3位四捨五入)

	平成 27 年 8 月 24 日	平成 27 年 8 月 25 日	騰落率(%)
米ドル (対円レート)	121.72	118.90	▲2.32
香港ドル (対円レート)	15.70	15.34	▲2.29
インドルピー (対円レート)	1.86	1.79	▲3.76
豪ドル (対円レート)	88.33	85.45	▲3.26
ブラジルリアル (対円レート)	34.79	33.45	▲3.85

対円為替レートは、対顧客公示相場の仲値

	平成 27 年 8 月 21 日	平成 27 年 8 月 24 日	騰落率(%)
ブラジルリアル (対米ドルレート)	0.286	0.282	▲1.30
トルコリラ (対米ドルレート)	0.343	0.340	▲0.70

米ドル為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレート

(小数点第3位四捨五入)

出所:MSCI、ブルームバーグ

世界優良株ファンド(3ヵ月決算型)、世界優良株ファンド(毎月決算型)

◆ 足許の市場動向

8月24日のグローバル株式市場は、中国経済への懸念に端を発した中国株の大幅下落を受け、世界的な株安の連鎖が止まらず、大幅下落しました。このグローバル株式市場の下落および為替市場における円高進行の影響により、ファンドの基準価額が前日比5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

グローバル株式市場は、当面、中国の経済動向や米国の利上げの行方等を見極めながら変動性の高い展開となることが想定されます。しかしながら、現行の株価の急落は短期的なリスク回避の動きが中心であるとみており、市場の過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面では株式市場は企業業績に焦点が向かい反発に転じるとみています。

欧州新成長国株式ファンド

◆ 足許の市場動向

8月24日の東欧・ロシア株式市場は、中国景気減速への懸念等を背景に市場のリスク回避姿勢が強まる中、主要株価指数が全体的に下落する展開となりました。ロシア株式市場においては、原油価格の低迷も株価の下落要因となりました。供給過剰の改善がみられない一方、中国など新興国の需要の伸び悩みが懸念されるなか、WTI(ウエスト・テキサス・インターメディアート)は24日に一時1バレル37ドル台に下落しました。

この東欧・ロシア株式市場の下落、円高ユーロ安の影響により、ファンドの基準価額が前日比5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

株式市場について、当面は、中国の経済動向や米国の利上げの行方等を見極めながら変動性の高い展開となることが想定されます。しかしながら、現時点での株価の急落は短期的なリスク回避の動きが中心であるとみており、市場の過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面では株式市場は落ち着いた

きを取り戻すとみています。ファンドにおいては、中東欧諸国およびロシアの中長期的な高い経済成長に着目して銘柄選択を行っており、引き続き銘柄選択に注力して投資を行う方針です。

コスモ・中国株厳選ファンド、中国株厳選ファンド3ヵ月決算型

◆ 足許の市場動向

直近の株価下落を受けて中国人民銀行が前週末、政策支援に動かなかったことから失望感が広がり、中国株が急落したことから投資家のリスク回避姿勢が強まり、24日の香港株式市場は大幅下落の展開となりました。この香港株式市場の下落および為替市場における香港ドル安円高進行の影響により、ファンドの基準価額が前日比5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

香港株式市場は、直近中国本土株式市場の動向に左右されやすい展開が続いています。中国経済は再構築の途上の段階にありますが、中国政府が景気回復に向け追加金融緩和や財政刺激策の発動などのあらゆる対策をとることが予想されることから、市場のリスク回避姿勢が和らぐにつれ、株式市場は安定化に向かうとみています。

アジア・ダブルプレミア・ファンド

(中華圏株式)

◆ 足許の市場動向

直近の株価下落を受けて中国人民銀行が前週末、政策支援に動かなかったことから失望感が広がり、上海総合指数は急落したことから投資家のリスク回避姿勢が強まり、24日の香港株式市場は大幅下落の展開となりました。この香港株式市場の下落および為替市場における香港ドル安円高進行の影響により、ファンドの基準価額が前日比5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

香港株式市場は、直近中国本土株式市場の動向に左右されやすい展開が続いています。中国経済は再構築の途上の段階にありますが、中国政府が、景気回復に向け追加金融緩和や財政刺激策の発動などのあらゆる対策をとることが予想されることから、市場のリスク回避姿勢が和らぐにつれ、株式市場は安定化に向かうとみています。

(ASEAN地域株式)

◆ 足許の市場動向

8月24日のASEAN株式市場は、中国景気減速への懸念等を背景に市場のリスク回避姿勢が強

まる中、全体的に下落する展開となりました。ASEAN地域の主要株価指数の対前日比の騰落率は、シンガポールST指数が▲4.3%、ジャカルタ総合指数が▲4.0%、タイSET指数が▲4.7%、FTSEブルサマレーシアKLCI指数が▲2.7%、フィリピン総合指数が▲6.7%となりました。

このASEAN各国の株式市場の下落、円高の影響により、ファンドの基準価額が前日比5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

株式市場について、当面は、中国の経済動向や米国の利上げの行方等を見極めながら変動性の高い展開となることが想定されます。しかしながら、現時点での株価の急落は短期的なリスク回避の動きが中心であるとみており、市場の過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面では株式市場は落ち着きを取り戻すとみています。ファンドにおいては、ASEAN 地域の中長期的な高い経済成長に着目して銘柄選択を行っており、引き続き銘柄選択に注力して投資を行う方針です。

T&Dインド中小型株ファンド

◆ 足許の市場動向

8月24日のインド株式市場は中国株の大幅下落を受け、各国の金融市場が混乱するなか、優良銘柄中心に売りが優勢となり、下落しました。このインド株式市場の下落および為替市場におけるインドルピー安円高進行の影響により、ファンドの基準価額が前日比5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

当面は外部環境に左右され、変動性の大きい相場展開も想定されますが、中長期的には、中間所得層の台頭による消費の拡大、若年層の比率が高い人口構造の優位性などインド経済の成長力に加え、企業業績の伸びによる株価上昇が期待できるため、現行の株価水準は成長性に魅力のある中小型株のポジションを構築する良い機会であると考えています。

米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース

◆ 足許の市場動向

8月24日の米国リート市場は、世界経済の減速や原油など国際商品市況の下落を背景として世界的に株式相場の下落が続いたことなどを受けて、投資家の運用リスクを回避する姿勢が強まり大幅に下落しました。また、米ドル/円は、世界同時株安によるリスク回避を強めた投資家が、相対的に安全な通貨とされる円買い(対ドル)を行い、一時1ドル116円台まで円高が進みました。

米国リーートのコールオプション売却及び米ドル/円のコールオプション売却によるプラス効果があったものの、米国リート市場および米ドル/円の下落により、ファンドの基準価額は前日比で5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

米国リート市場については、世界経済の先行きに対する市場の不安感は根強く、引き続き、値動きの荒い相場展開となることが想定されます。しかし、株式市場や米国リート市場は大幅に調整をしており、世界経済の減速を相当程度織り込まれた水準であるとみています。今回の急落は短期的なリスク回避の動きが中心であると考えられることから、市場の過度なリスク回避姿勢が和らげば、賃料の上昇や空室率の低下などリートの良好なファンダメンタルズが評価され、今後は持ち直しの動きを予想します。

豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)

◆ 足許の市場動向

8月24日のオーストラリア株式市場は、世界経済の減速や原油など国際商品市況の下落を背景として世界的に株式相場下落が続いたことなどを受けて、投資家の運用リスクを回避する姿勢が強まり大幅に下落しました。また、豪ドル/円は、世界同時株安によるリスク回避を強めた投資家が、相対的に安全な通貨とされる円買い(対ドル)を行い、下落しました。

オーストラリア株式市場全体(株価指数等)のコールオプションの売却および豪ドル/円のコールオプションの売却によるプラス効果があったものの、オーストラリア株式市場および豪ドル/円下落により、ファンドの基準価額は前日比で5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

オーストラリア株式市場については、世界経済の先行きに対する市場の不安感は根強く、引き続き、値動きの荒い相場展開となることが想定されます。しかし、株式市場は大幅に調整をしており、世界経済の減速を相当程度織り込まれた水準であるとみています。今回の急落は短期的なリスク回避の動きが中心であると考えられます。

引き続き、外国投資信託証券を通じて、オーストラリアの高配当株式への投資を行うと同時に、株式オプションα戦略および通貨オプションα戦略を活用し、引続き年率15%の目標オプション料(プレミアム収入)の獲得を目指します。

ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) ツインα・コース

◆ 足許の市場動向

8月24日のブラジル株式市場は、世界経済の減速や原油など国際商品市況の下落を背景として世界的に株式相場下落が続いたことなどを受けて、投資家の運用リスクを回避する姿勢が強まり大幅に下落しました。また、米ドル/円は、世界同時株安によるリスク回避を強めた投資家が、相対的に安全な通貨とされる円買い(対ドル)を行い、一時1ドル116円台まで円高が進みました。

ブラジル株式(米ドル建てETF)が参照しているMSCIブラジル25/50インデックス(配当込み)のコールオプション売却及び米ドル/円のコールオプション売却によるプラス効果があったものの、ブラ

ジル株式市場および米ドル/円の下落により、ファンドの基準価額は前日比で5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

ブラジル株式市場については、世界経済の先行きに対する市場の不安感は根強く、引き続き、値動きの荒い相場展開となることが想定されます。しかし、株式市場は大幅に調整をしており、世界経済の減速を相当程度織り込まれた水準であるとみています。今回の急落は短期的なリスク回避の動きが中心であると考えられます。

引き続き、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ -ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)を通じて、ブラジル株式(米ドル建てETF)の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式(米ドル建てETF)からの配当金+ブラジル株式(米ドル建てETF)の株式オプションプレミアム+米ドル(対円為替レート)の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) シングルα・米ドルコース

◆ 足許の市場動向

8月24日のブラジル株式市場は、世界経済の減速や原油など国際商品市況の下落を背景として世界的に株式相場下落が続いたことなどを受けて、投資家の運用リスクを回避する姿勢が強まり大幅に下落しました。また、米ドル/円は、世界同時株安によるリスク回避を強めた投資家が、相対的に安全な通貨とされる円買い(対ドル)を行い、一時1ドル116円台まで円高が進みました。

ブラジル株式(米ドル建てETF)が参照しているMSCIブラジル25/50インデックス(配当込み)のコールオプション売却によるプラス効果があったものの、ブラジル株式市場および米ドル/円の下落により、ファンドの基準価額は前日比で5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

ブラジル株式市場については、世界経済の先行きに対する市場の不安感は根強く、引き続き、値動きの荒い相場展開となることが想定されます。しかし、株式市場は大幅に調整をしており、世界経済の減速を相当程度織り込まれた水準であるとみています。今回の急落は短期的なリスク回避の動きが中心であると考えられます。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ -ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(シングル・アルファ・クラス)を通じて、ブラジル株式(米ドル建てETF)の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式(米ドル建てETF)からの配当金+ブラジル株式(米ドル建てETF)の株式オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

資源ツイン α ファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース

資源ツイン α ファンド(通貨選択型)トルコリラコース

資源ツイン α ファンド(通貨選択型)米ドルコース

◆ 足許の市場動向

8月24日の原油市場は、OPEC(石油輸出国機構)による原油生産量の増加計画や中国経済の減速懸念等を受け、原油需給が悪化するとの見方に加えて、世界同時株安によるリスク回避の投資行動へと繋がったことも影響し、WTI原油先物価格は約5.5%下落しました。また、米ドル/円は、世界同時株安によるリスク回避指向を強めた投資家が、相対的に安全な通貨とされる円買い(対ドル)を行い、一時1ドル116円台まで円高が進みました。トルコリラ/米ドルは、半年で2回目となる総選挙を控え、政治リスクが高まっている中で、世界的な株安が拍車をかけ、下落しました。ブラジルリアル/米ドルは、国内の政局不安や世界同時株安により、下落しました。

この原油市場および通貨の下落により、ファンドの基準価額は前日比で5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

原油市場について、当面は、各国の需給バランス等を見極めながら、値動きの荒い相場展開となることが想定されます。しかし、各国の原油生産損益分岐点が近づいており、原価割れ水準での増産は想定し難いことや中国経済の減速等が相当程度織り込まれた水準であり、今回の急落は短期的なリスク回避の動きが中心であると考えられることから、市場の過度なリスク回避姿勢が和らげば、再び底堅い値動きになるとみています。

以上

- 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- MSCI-KOKUSAIインデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。当インデックスに関する全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。その著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。
- iShares®(iシェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コースおよびブラジル株式ツイン α ファンド(毎月分配型) シングル α ・コースについて出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コースおよびブラジル株式ツイン α ファンド(毎月分配型) シングル α ・コースへの投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当資料はT&Dアセットマネジメント株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.32%(税込)

信託財産留保額・・・上限 3.0%

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 1.998%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。

むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

【広告審査済】